



—なぜ、人は猫に惹かれるのか？—

猫を めでたい 愛

2024 10.26(土) → 12.8(日)

※会期中、一部展示替があります。

前期:10月26日(土)~11月17日(日) 後期:11月19日(火)~12月8日(日)



🐾にゃん割🐾

~にゃんともお得!な
入場割引を実施~

詳しくは裏面をご覧ください

主催 茨城県天心記念五浦美術館企画展地域連携実行委員会 / 茨城県天心記念五浦美術館
会場 茨城県天心記念五浦美術館
後援 朝日新聞水戸総局 / 茨城新聞社 / NHK水戸放送局 / 産経新聞社水戸支局 /
東京新聞水戸支局 / 毎日新聞水戸支局 / 読売新聞水戸支局 / LuckyFM茨城放送
開館時間 午前9時30分~午後5時(入場は午後4時30分まで)
休館日 月曜日(ただし11月4日[月・振]は開館、翌5日[火]は休館)
入場料 一般 950(820)円 / 満70歳以上 470(410)円 / 高校生 710(590)円 / 小中生 360(240)円
※()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費
受給者証等を持参の方及び付き添いの方1名は無料 ※土曜日は高校生以下無料 ※11月13日(水)は茨城県民の日の
ため全ての方無料 ※残念ながら愛猫との入場は不可となっております

掲載作品:①歌川国芳「見立東海道五拾三次 岡部 端石の由来」(部分) 弘化4年(1847) 東京都江戸東京
博物館蔵 [前期展示] / ②田崎太郎「毘舍羅門猫神」令和3年(2021) 茨城県陶芸美術館蔵 / ③朝倉文夫
「つるぎた猫」明治42年(1909) 東京藝術大学蔵 / ④小杉放庵(宋韻)「権」(部分) 昭和12年(1937) 東京
国立近代美術館蔵 / ⑤國司華子「オチツケ!」(部分) 令和2年(2020) 作家蔵 / ⑥小茂田青樹「春の夜」(部
分) 昭和5年(1930) 埼玉県立近代美術館蔵 / ⑦菱田春草「黒猫」(部分) 明治43年(1910) 播磨屋本店蔵

茨城県天心記念五浦美術館
TENSHIN MEMORIAL MUSEUM OF ART, IBARAKI
〒319-1703 茨城県北茨城市天津町椿2083 Tel.0293-46-5311 Fax.0293-46-5711

猫を愛でたい

大きな目にとがった耳、しなやかな体軀にぶにぶにの肉球、思わずなでたくなる柔らかい毛並みの猫たち。見た目の愛らしさはもちろんのこと、神秘的で自由気まま、時に甘え上手な猫は、いつだって多くの人々を魅了してやみません。そのような猫たちは、日本美術の分野にも数多く登場し、蝶や牡丹などを組み合わせた吉祥画、擬人化された姿や化け猫として描かれた浮世絵、近現代の絵画、立体作品等、現代に至るまで、さまざまな分野の作家たちにより表現されています。

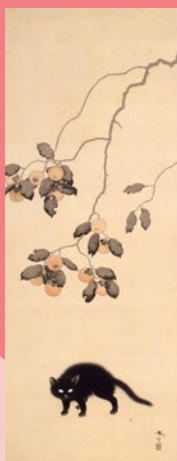
本展では、江戸時代の絵画から現在活躍中の作家の作品まで、魅力的な猫を多数紹介します。猫好きの方も、そうでない方も、今よりもっと猫を愛でたくなる展覧会です。



國司華子「オチツケ!」令和2年(2020) 作家蔵



小茂田青樹「春の夜」昭和5年(1930) 埼玉県立近代美術館蔵



菱田春草「黒猫」明治43年(1910) 播磨屋本店蔵



竹内浩一「戯画 女郎蜘蛛とねこ」平成17年(2005) 郷さくら美術館蔵



木内克「親子猫」昭和35年(1960) 水戸市立博物館蔵



小杉放庵(未醒)「椿」昭和12年(1937) 東京国立近代美術館蔵



歌川国芳「見立東海道五拾三次 岡部 猫石の由来」弘化4年(1847) 東京都江戸東京博物館蔵 [前期展示]



仙厓義梵「龍虎図」江戸時代後期(19世紀) 永青文庫蔵 [後期展示]

いろいろなネコが大集合!

いろいろなネコが大集合



宮森敬子「森の泉」(部分) 平成5年(1993)、令和4年(2022) 修復加筆 個人蔵

にゃん割

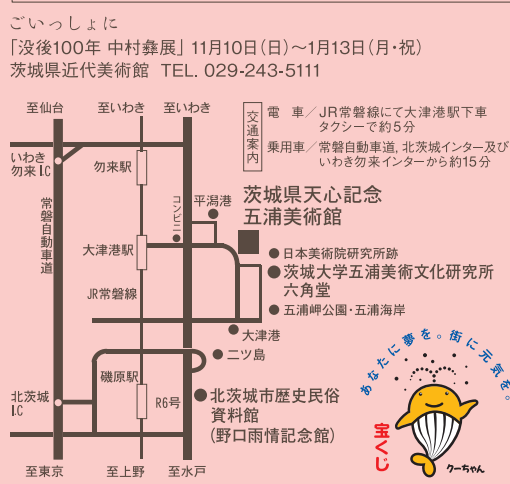
～にゃんともお得! な入場割引を実施～
会期中は猫に関する物を身につけていただくと
団体割引が適用されます。
猫モチーフのアクセサリ、キーホルダー、ぬいぐるみ、ハンカチ、洋服の柄など、
猫に関するものを身につけてご来場ください。
※スマートフォンの画像・動画、本物の猫は割引対象外です。

会期中のイベント

- 講演会「猫はなぜ愛されるようになったのか? —《化け猫》から《大切な家族》へ—**
『猫が歩いた近現代』(吉川弘文館)の著者が猫の歴史について語ります。
講師:真辺将之(早稲田大学文学部教授/早稲田大学歴史館館長)
日時:11月3日(日・祝)13:30~15:00
会場:講堂(要事前申込、要企画展入場券、定員114名)
- ニャーティストーク(アーティストトーク)**
展覧会出品アーティストが、にゃんとも素敵な制作エピソードや作品にこめた思いを語ります。(約30分)
日時:11月16日(土)13:30~ 國司華子(日本画家)
11月24日(日)13:30~ 宮森敬子(現代美術作家)
14:30~ 田崎太郎(陶芸家)
会場:企画展示室(要企画展当日入場券、申込不要)
- 小泉館長によるギャラリートーク**
当館館長が作品解説を行います。
日時:10月26日(土)、11月17日(日)13:10~
会場:企画展示室(要企画展当日入場券、申込不要)
- ニャーリートーク(ギャラリートーク)**
猫好き展覧会担当者、推し猫作品について一緒に語りませんか。
日時:12月1日(日)13:10~
会場:企画展示室(要企画展当日入場券、申込不要)
- ワークショップ「ふわふわを描こう」**
日本画の画材を使って思わず愛でたくなる「ふわふわ」の動物を描きます!
日時:11月23日(土・祝)10:00~、13:30~
会場:講座室(各回定員20名程度、要企画展入場券、当日先着順)

- うちの猫自慢**
みなさまが投稿した猫ちゃんの姿を動画でご紹介します!
会場:企画展出口側 展望ギャラリー、YouTube
- オープンワークショップ「猫耳大作戦」**
手作りした猫耳を身につけて美術館をお散歩しませんか?
みんなで猫耳をつけて館内を猫だらけにする大作戦です。
参加無料。どなたでも参加できます。
- 映画会**
今回はなんと、ねこ特集! 企画展と一緒
午前の部「日々ノ境。國司華子」2012年/18分/カラー/日本/制作:常陽藝文センター
「こねこ」1996年/84分/カラー/ロシア
午後の部「日々ノ境。國司華子」2012年/18分/カラー/日本/制作:常陽藝文センター
「ネコのミヌース」2001年/83分/カラー/オランダ
日時:11月10日(日)9:45~、13:30~
会場:講座室(定員114名、無料、当日受付先着順)
- 来て・見て・発見! アートツアー for kids**
日時:11月2日(土)10:00~12:00
会場:展示室、講座室
対象:小中学生と保護者5名(要事前申込、1組4名まで、先着順)
- トワイライトコンサート**
出演:小林日和(ヴァイオリン)、永田絵里子(ピアノ)
日時:11月2日(土)17:00~
会場:エントランスロビー(要企画展入場券)

イベント申込方法
当館HPにて内容の詳細、申込期間をご確認の上お申込みください。
※各イベントは日時、内容等変更になる場合があります。



当館次回企画展のご案内
「幻視する風景 一藤田志朗の世界」
12月14日(土)~2月11日(火・祝)

【美術館共通年間パスポートのご案内】
茨城県立の美術館(近代美術館、天心記念五浦美術館、陶芸美術館)が主催するすべての展覧会で何回でもご利用いただける共通年間パスポート(一般3,550円/高校生2,370円/小中生1,180円、購入日から1年間有効)を各美術館にて販売中。



茨城県天心記念五浦美術館
TENSHIN MEMORIAL MUSEUM OF ART, IBARAKI
TEL.0293-46-5311

